

マウスで文字やファイル、フォルダーのアイコンなどを右クリックすると「開く」「印刷」「プログラムから開く」「送る」「切り取り」「コピー」「ショートカットの作成」「削除」「名前の変更」「プロパティ」など、選択したものに合った、頻繁に使うメニューが表示されます。

これを使うと、操作が簡単に行えるので、作業の効率がよくなります。

また、アプリケーションのファイルのアイコンを右クリックするとアプリケーション独自のメニューが表示されることがあります。

## 送り先の追加の仕方 Windows XP の場合

C:\¥Documents and Setting( ユーザー名)\¥sendto というフォルダーに追加したい送り先へのショートカットを作ることによって可能です。

また、sendto は、隠しフォルダーとなっていますので、もしも見えないときは、コントロールパネルのフォルダーオプションの表示で、すべてのファイルとフォルダーを表示するにチェックを入れてください。

## 送り先の追加の仕方 Windows Me の場合

C:\¥Windows¥SendTo というフォルダーに追加したい送り先へのショートカットを作ることによって可能です。

SendTo は、隠しフォルダーとなっていますので、もしも見えないときは、コントロールパネルのフォルダーオプションの表示で、すべてのファイルとフォルダーを表示するにチェックを入れてください。

## 本日の実験 Windows XP で

今回は、内蔵ハードディスクのDドライブと外付けメモリーとの間で「画像ファイル」の移動実験をしてみます。

1. コントロールパネルのフォルダーオプションの表示で、すべてのファイルとフォルダーを表示するにチェックを入れます。
2. C:\¥Documents and Setting( ユーザー名)\¥SendTo というフォルダーを表示させます。
3. SendTo フォルダーにショートカット「D:\¥」を追加します。
4. これで、外付けメモリーにある画像ファイルを右クリックし送るメニューの「ローカルディスク (D)」を選択すれば、画像ファイルが内蔵ハードディスクのDドライブへ送られます。

## 備考

これらの記述は、プログラム領域がCドライブという前提です。

今日の実験

**2000 忘年会.jpg**

これを右クリックして

外付け F → 内臓 D へコピー



プレビュー (V)
開く (O)
印刷 (P)
編集 (E)
プログラムから開く (H)
<b>送る (N)</b>
切り取り (T)
コピー (C)
ショートカットの作成 (S)
削除 (D)
名前の変更 (N)
プロパティ (R)

メモ